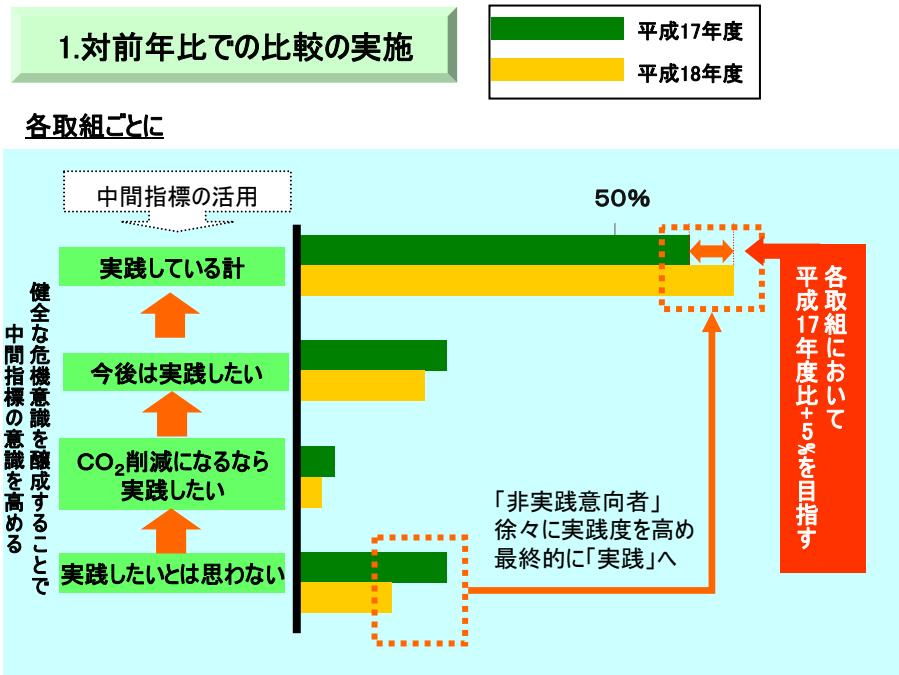


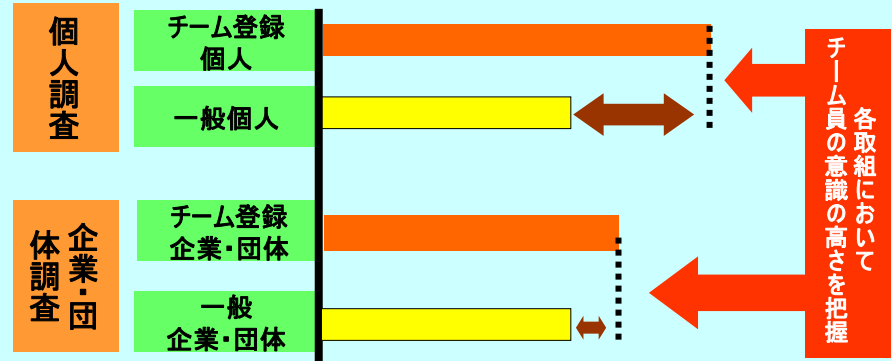
平成17年度の調査フレームを継続し、各取組について対前年比較を行う。また、企業／個人におけるチーム員と一般との比較も同様の視点で分析し、事業の進捗状況をきめ細かく把握する。削減量算出についても、本年度の調査フレームと算出式も同様に継続し、時系列比較の視点を加味して分析する。



上記のような視点にたった調査を及び分析を以下の4つの調査で実施。

- 一般個人調査
- 一般企業・団体調査
- チーム登録個人調査
- チーム登録企業・団体調査

2.チーム員との比較



3.削減量の算出

「冷房の設定温度28℃」総CO2削減量(例)

賛同企業数目標値: 3,500社※1 (大企業262社※2: 中・小企業3238社※2)

※1: 全企業数 * (株式会社及び有限会社) 150万社のうち0.05% (7,500社) が賛同すると仮定 (H17年度「COOL BIZ」賛同企業数4,000社を含むので、新賛同企業数は3,500社する)

※2: 大企業と中小企業の比率を7.5:92.5とする。(H17年度実績値→大企業270社: 中小企業3730社)

大企業CO2削減量 $262 \times 303t^{※3} = 79,386t$ 削減 **新たに41万t削減**
 中小企業CO2削減量 $3,238 \times 101t^{※3} = 327,038t$ 削減

※3: 大企業は中小企業に対して3倍の電力を消費していると仮定し、昨年実績値46万tを 大企業・中小企業の比率で換算

17年度削減量 **46万t**

18年度削減量 **87万t**

(新賛同企業3500社として試算)

リアルな実践状況を把握するため、実践直後の生活者意識をその場で聴取る手法として、携帯電話を通じた調査を効果測定サブシステムとして採用する。結果的に、今まで取りづらかった若年層のデータ収集、WEBサイトなどの連携も容易となる。



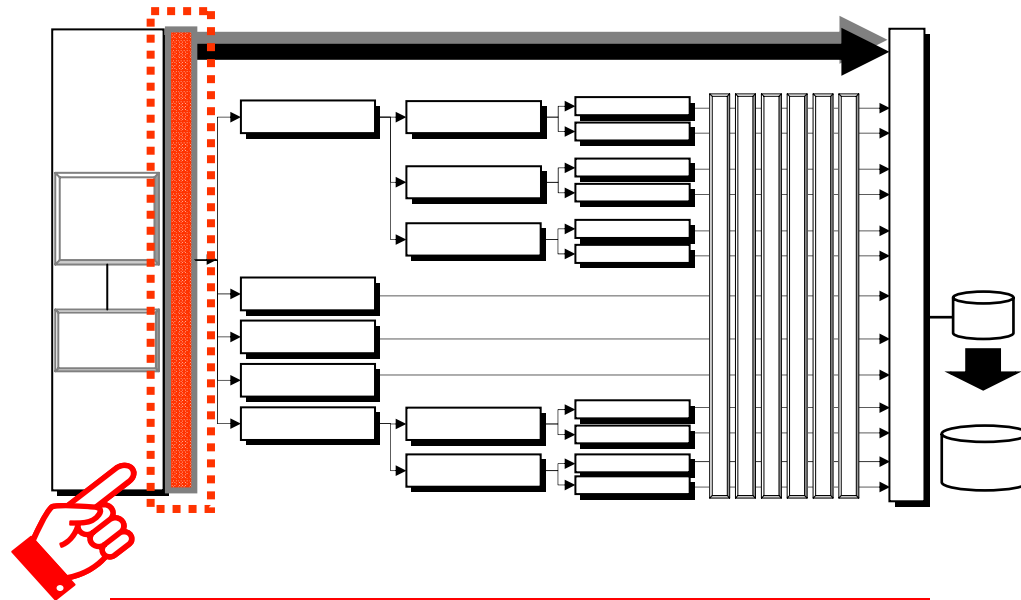
イ) 計画詳細



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

※今回のご提案は実現性を十分考慮して企画しておりますが、本企画書に記載されております「特定団体名」「個人名」等につきましては、提案内容をご説明する上での『想定』であり、当該団体・個人についての交渉、本人確認等は全て行っているわけではありません。情報公開の際には、あらかじめこの点をご留意下さいようお願い申し上げます。



1.「実施体制の強化・拡充」について

計画詳細篇

